

# ＝ 普及 情 報 ＝

No. 8

平成30年6月21日

東部農林振興センター 松江農業普及部

標題

玄丹そばの収量安定に向けてーそば栽培説明会を開催

(ダイジェスト)

6月12・13・14日、そば栽培説明会が開催され、そば栽培農家に対して、そばの収量安定に向けた栽培指導、提案を行いました。

今後も、関係機関と連携し、玄丹そばの安定的な収量確保を願い、生産振興を図っていきます。

6月12日(火)古江支店にて、13日(水)中海干拓研修センターにて、14日(木)営農総合センターにてそば栽培説明会が開催されました。

松江市では、平成10年から「玄丹そば」という名称で、水田転作の主幹的作物と位置づけ、そばの栽培に取り組まれています。

近年、湿害や台風による影響で、収量が低く（近年で良かったという平成27年産の平均単収が55kg/10a）推移していることから、30年産そば栽培暦について一部見直し、安定生産を図るため、栽培説明会を開催することとしたものです。3会場で松江市内そば栽培農家33名の参加がありました。

説明会では、普及部から栽培暦の説明を行い、排水対策が最も重要なこと、石灰資材散布、播種量を少なくし、散播より条播、中耕培土による播種後の雑草対策、排水性向上、倒伏軽減対策といった、湿害や台風にも負けないそば栽培を提案しました。その後JAから、播種計画、29年産で問題となった帰化アサガオ種子の混入とその対策、そばの補助金について、NOSA Iからそば共済、収入保険制度について、それぞれ説明がありました。

当普及部としては、これまで以上の排水対策が実施され、天候にも恵まれ、玄丹そばの安定的な収量確保に向けて、今後も、市、JA、NOSA I等関係機関と連携し、玄丹そばの生産振興を図っていきます。